地域運営学校
令和8年度
学校だより

鑓水

令和8年11月4日
11月号
八王子市立鑓水中学校

「競う」と「争う」の違い

校長　山川　毅

嬉しい報告を２つします。先週木曜日、鑓水小学校の副校長先生からお電話をいただきました。要件は、鑓水小学校１年生の女の子が転んでけがをしてしまったのですが、そこに居合わせた鑓水中学校の生徒さんが、自分の家から絆創膏を取りにいき、とても丁寧にけがの処置をしてくれたとのことでした。３年生の畠山さん、栗原さん、岩瀬さんの３人です。翌日、この小学生のお母様から感謝の電話を頂きました。私は、常々今回のような良いことも、逆に悪いことも、当事者だけのことではなく、ここにいるみなさん全員が共有するべきだと考えています。ですから、全校生徒のみなさんに紹介しました。困っている人がいたら、躊躇なく手を差し伸べる優しさ、とても素敵なことですね。鑓水中学校は、こういう優しい心が育つ学校なんだと、校長としてとても嬉しかったです。ありがとうございました。

２つ目。２日前の土曜日、吹奏楽部がＪ：COM ホールにて芸能祭に参加し、素晴らしい演奏を披露しました。担当の校長先生から、「鑓水中の生徒さんは、とても気持ちの良い挨拶をしてくれました。音色がとても綺麗でしたね」とお褒めの言葉を頂きました。“気持ちの良い挨拶”この礼儀正しいふるまいが、“綺麗な音色”を生み出した要因の１つだと思います。お疲れ様でした。

さて、先日の合唱コンクールお疲れ様でした。各学年、各クラスの発表、吹奏楽部の発表、どれも素晴らしかったです。どのクラスも完成度が高く、私は審査にとても苦労しました。なぜ、素晴らしい合唱を発表することができたのでしょうか・・・

みなさんノミは知っていますか？体長１～３ｍｍ、犬や猫に寄生する昆虫です。あまり、よいイメージはありませんが、すごい能力をもっています。ノミはなんと２ｍも跳べるそうです。ノミの体長は１～３ｍｍですから、自分の身長の２０００倍です。ところが、そのノミを５０ｃｍの箱に閉じ込めるとどうなるか？そのうち５０ｃｍしか跳ばなくなるそうです。箱を取り除いても同じだそうです。では、そのノミをどうすれば再び２ｍ跳べるようにできるでしょうか？２ｍの高さにえさを取り付ける？残念ながらこれではダメなようです。ではどうするか？２ｍ飛ぶ他の仲間と一緒にすると、また跳べるようになるそうです。

スポーツの世界では、よく「争う」と「競う」と言う言葉が使われます。金メダルを懸けて「争う」「競う」、この２つの文字、一見同じような言葉ですが、先生は大きな違いがあると思っています。

「争う」＝互いに譲れないものがあって戦うこと。個人単位なら喧嘩、言い争い。国単位なら戦争に発展する場合もあります。対戦相手は「敵」です。

「競う」＝スポーツなどで勝敗を決めること。昔の語源では「共に求める」という意味も含まれているそうです。互いにより高くより良い結果を求めて勝負すること。対戦相手は「ライバル」です。

（裏面に続く）

話を戻します。みなさんは、なぜ、素晴らしい合唱を発表することができたのでしょうか・・・。それは、ライバルがいて、それを意識して練習期間から頑張ったからです。他のクラスをよきライバルと捉えて、お互いを高め合ったからです。人は争っても成長できません。下手をすると憎しみを生んでしまいます。人は競い合って成長するのです。ですから、今みなさんのまわりにいる人たちと争うのではなく、競い合って、お互いに成長していって欲しいと思います。勉強でもスポーツでも音楽でも美術でも、良きライバルを見つけて、お互いを尊重し、高め合っていける、そんな人と出会えるといいですね。

（令和８年１１月２日朝会　校長講話）

3年生　修学旅行

PBL（課題解決型学習）×PBL（地域に根差した学習）・キャリア教育の充実













１０月９日（金）～１１日（日）２泊３日で３年生が修学旅行へ行ってきました。行先は奈良京都方面です。

３年生に与えられた修学旅行のミッションは、「お客様（大学生や外国人夫婦等を班ごとに想定）の『奈良・京都らしい景観とはどんなものか知りたい』や『京都における伝統文化は、どのように現代へ受け継がれているのかを知りたい』等の要望に応えるツアーを提案せよ！」です。事前学習では、奈良・京都の歴史等を調べた後、各班でツアーのテーマ（要望）に沿って、コース（ツアー）作りをしました。修学旅行当日は生徒たちが作成したツアーの実地踏査として、奈良・京都を回りながら学びました。

現在は、事後学習を行っていますが、どのようなツアーが提案されるか楽しみです。

鑓水中学校グループ育てたい児童・生徒像
「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」

1年生　移動教室

PBL(課題解決型学習)×PBL(地域に根差した学習)　・キャリア教育の充実











１０月１４日（水）～１６日（金）の３日間、栃木県那須・大田原地域で、農村生活体験を行いました。現地の農家の方から愛情を注いでもらい、唐辛子やサツマイモ等の収穫や養鶏等の体験を通して、那須・大田原地域の良さを感じることができました。最終日の閉村式では涙する班もありました。普段の生活との違いも際立ち、鑓水の特色をよりはっきりと理解できたと思います。１２月に予定している「多摩美術大学の留学生に鑓水の良さを伝える交流会」に大いにいかせそうです。

フィーカ@鑓水中学校

鑓水中学校地域協働本部･家庭教育支援の充実



１０月３日（土）、フィーカ@鑓水中学校を行いました。保護者の方、地域の方、鑓水中教員、不登校対応巡回教員、あじさい学級巡回指導教員、青少対育成指導員等が参加して最近の子どもたちの様子、思春期を迎えた子どもへの親（特に母親）の関り方、不登校の悩み等について話しました。次回は２０２７年1月３０日（土）１４：００～１５：３０の予定です。ぜひご参加ください。

後期生徒総会

生徒会活動の活性化





後期の生徒総会を行いました。生徒会の活動方針や各委員会の活動内容など様々なことについて協議しました。各クラスからもたくさんの意見や質問が出て、鑓中生が自分事として考えてくれていることがよくわかりました。

鑓水中学校は「想像力」と「思いやり」

鑓水中学校グループ育てたい児童・生徒像
「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」

合唱コンクール・生徒会本部役員主催「鑓水中音楽祭」
協力してやり遂げる活動を通して所属感や連帯感を養う・生徒会活動の活性化








１０月２４日（土）合唱コンクールを行いました。当日だけではなく、合唱コンクール実行委員の活動が始まった５月から、鑓中生の一生懸命な表情や、楽しそうな笑顔がたくさん見られました。

午後はやりみずプラザ内で生徒会本部役員主催の「鑓水中音楽祭」を行いました。本校生徒会は本校 PTA より、毎年５万円の「鑓水中学校をより良くする予算」をいただいています。令和８年度生徒会は「鑓水中と鑓水地域を音楽で盛り上げたい。」そして「いじめ防止を訴えたい。（運営生徒や参加生徒がピンクのＴシャツを着ることで、『いじめ反対』の意思を表しています。）」ということで音楽フェスを開催しました。有志生徒のダンス、楽器演奏、鑓水中学校クイズ、歌唱を行い、小学生や地域の方々と大いに盛り上がりました。午前の合唱コンクール、午後の鑓水中音楽祭、ともにあいにくの雨模様でしたが、たくさんの保護者の方、地域の方に来ていただきました。ありがとうございました。

【合唱コンクール　実行委員長の言葉　より】

みなさん、今日の合唱コンクールはいかがでしたか。どのクラスも一生懸命に取り組み、練習の成果を存分に発揮できていたと思います。素晴らしい音楽を作り上げた全校生徒の皆さん、クラスをまとめ上げた指揮者や伴奏者、パートリーダーの皆さん、そして裏方として行事を支え続けてくれた実行委員の皆さん、本当にお疲れさまでした。

今年度から、合唱の完成度によって賞が決まるルールに変わりました。そのため、他のクラスと比較して優位に立つのではなく、自分たちのクラスの合唱のレベルを上げ続けなければなりませんでした。だからこそ、スローガンの「一魂」の意識が大切でした。課題に向き合い、仲間とともに乗り越えることこそ、この行事を最高に楽しむ方法であり、これからの学校生活において壁にぶつかったとき、それを突破するための大きな力になってくれます。それが練習、本番を通して生徒の皆さんに伝わっていたら、実行委員長として嬉しく思います。

最後になりますが、保護者の皆様や地域の皆様、本日はご多用の中、お越しいただき、ありがとうございました。私たちの歌声を通して、練習の成果や鑓中生の団結力が伝わったと思います。これからも私たちの学校生活を温かく見守っていただけると嬉しいです。本日は、本当にありがとうございました。

被爆体験の方をゲストティーチャーに迎えた授業・3年生　社会科
学力向上の取組・平和教育




広島で３歳時に被爆された上田紘治さんをお招きして、「ポツダム宣言と日本の敗戦」の授業を行いました。授業中盤で上田さんから原子爆弾の実相「熱さ、放射能の被害、そして助けることのできなかった家族への思い」等を話していただき、授業の最後に、上田さんに平和への思いを語っていただきました。世界平和のために自分のできることを考えることができた貴重な時間となりました。

【不審者情報】　鑓水中学校周辺で複数の不審者情報がありました。本校では、生徒への安全指導を行うとともに、下校指導を強化いたします。保護者の皆さまにおかれましても、出来るだけ複数名で下校すること、不審な人に声をかけられたら、大声を出してその場から離れ、近くの大人や警察に知らせること等について、御家庭でも御指導いただきますようお願いいたします。